

東通原子力発電所 1・2号機新設に係る 環境監視調査結果（平成23年度）について

東京電力（株）では、平成19年度より建設工事中の環境監視の調査を行っています。なお、平成23年度につきましては、福島第一原子力発電所で発生した原子力災害の収束に向けた取り組みを最優先する観点から、東通原子力発電所の本格工事を当面見合わせる事となり、工事用資材の搬出入、建設機械の稼働が発生しないことから、「大気質」「騒音」「振動」の環境監視の頻度を見直しております。

平成23年度の調査の結果として「大気質」「振動」「水質」につきましては、環境基準値・管理目標値を下回っていました。

「騒音」につきましては、旧小田野沢小中学校近傍において、夜間の環境騒音が環境基準値と比較すると基準をわずかに超えていましたが、風などの気象条件により波の音が大きくなったものです。また、当該地域は「環境基本法」に基づく騒音に係わる環境基準の類型指定されていない地域です。

「地形及び地質」「陸域に生育する植物」「海域に生育、生息する動植物」につきましては、平成19年度～22年度と比較した結果、大きな変化はありませんでした。

以上の結果より、発電所建設工事が周辺環境に与える影響は、現時点では小さいものと評価いたしました。

調査結果の詳細につきましては、「東通原子力発電所 1・2号機新設に係る環境監視調査結果報告書（平成23年度）」として、トントウビレッジ内の原子力情報コーナーにて閲覧が可能です。

以 上